



公共でのマナー

今号では、公共でのマナーについて考えてみましょう。

【店舗でのマナー】

ある市内の店舗でのことです。

私が下りのエスカレーターに乗っていると、小学入学前くらいの男の子が、後ろから歩いて私を抜いていきました。男の子の母さんらしい人はそのまま私の後ろです。子どもに注意をされるのかなと思ったのですが、注意もないままフロアに降りて二人で歩いて行ってしまいました。まだ、小さな子どもですから大人に比べ足元がしっかりしていないので、エスカレーターを歩いて降りることは危険な行為です。私から「危ないよ」と声をかければよかったと反省しました。子どもだけであればすぐその場で注意をしていたでしょうが、お母さんが一緒にいたということで遠慮をしたのです。

ちなみに、そもそもエスカレーターは歩行を想定して設計はされていないそうです。

一般社団法人「日本エレベーター協会」の調査によると、「2018年～19年にエスカレーターで発生した事故1550件のうち、半数以上の805件が歩行や手すりにつかまらないといった『乗り方不良』が原因だった」と発表しています。このようにエスカレーターの昇降には事故が多いのです。子どもと一緒に乗る親や大人は、日頃からエスカレーターの乗り方を教えるべきでしょう。

また、店舗内で小さな子が大きな声をあげたり、走り回ったりする姿をよく見ます。一緒に来ている親は買い物に気を取られているのでしょうか、注意をする親は少ないように感じます。店舗内で走り回る行為はマナー違反です。小さな時から他の人の迷惑にならない行動ができるよう、しつけましょう。

【バスや列車でのマナー】

列車を待っている列に割り込む、隣の席に荷物を置く、座席に足を広げて座る、車内で大きな声で話す、スマホで電話をする人等、そんな姿を見たことはありませんか。これもマナー違反でしょう。

【街中でのマナー】

街中で、歩きスマホをしたり、唾を吐いたりすること、ごみのポイ捨て等もマナー違反でしょう。

今、たくさんの外国の人たちが日本を訪れています。多くの人から「日本の街はきれいだ」という声を聞きます。日本人は「ポイ捨て」をする人が少なく、マナーを守る人が多い（または、ゴミを拾っている人がいる）からなのでしょう。うれしいことですね。マナーについて考える時、自分だったら何を迷惑に感じるか、何を不快に感じるか等を基準にして考えれば、どういう行為がマナー違反かどうかを理解できるのだと思います。

子どもには、他の人に迷惑をかけないよう、小さな時からマナーを守るようしつけましょう。大切なことは、大人や親がマナーを守っている姿を見せることです。